

院内にてご回覧いただき
職員間で情報共有ください

松医発令 08-357号

令和8年9月7日

会 員 各 位

一般社団法人松山市医師会

会長 矢野 誠

【注意喚起・実態調査】

医療機関幹部（副院長等）を騙る「架空発注・特殊詐欺」への警戒
および発生状況の確認について（お願い）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本会会務の運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今般、市内の会員医療機関において、当該医療機関の「副院長」を名乗る不審な人物が市内のリフォーム工事業者等に対し、架空の内装工事の発注や「特殊な薬剤の立替調達」を持ちかける特殊詐欺事案が発生いたしました（松山東警察署へ通報・情報共有済み）。

本件は医療機関の信用を悪用し、外部業者から多額の現金を詐取する手口であり、愛媛県内（四国中央市等）でも同系統の被害が確認されております。

各医療機関におかれましては、受付・事務スタッフ等への防犯体制の周知徹底をお願い申し上げます。

また、市内での潜在的な発生状況を把握し警察へ情報提供を行うため、万一、貴院におかれまして類似の不審電話やお心当たりがございました場合のみ、下記、『類似事案 情報提供票』にてご一報くださいますようお願い申し上げます。（※該当がない場合の返信は不要です）

記

1. 確認された詐欺の手口と特徴

- ①【医療機関幹部の詐称】：犯人は「〇〇医院の副院長」などと名乗り、地域の不動産会社やリフォーム業者に接触して改装工事を打診します。
- ②【架空の薬剤・資材立替要求】：工事受注の条件として「特殊な医療用薬剤（消毒液・抗菌コーティング等）の事前購入」を指示し、犯人グループが指定する販売口座へ業者から現金を立替振込させようとします（医院が後で一括精算すると騙す手口）。
- ③【不審な事前偵察】：犯行グループが事前に医療機関へ電話をかけ、無言電話や副院長の在籍・不在確認等を行い、受付の対応状況を探る動きも確認されています。

- ①【不審電話の即時取次ぎ禁止】：業者等から「副院長（院長）よりリフォームの相談を受けた」「指定薬剤の調達の場合」等の電話があった場合、安易に取り次がず、必ず相手の【会社名・担当者名・連絡先電話番号・用件】を控えてください。
- ②【院長への直接確認】：外部からの工事・資材調達に関する問い合わせは、必ず院長へ直接確認を取り、自院から発注事実がない場合は「当院からそのような依頼は一切行っていない」と毅然と対応してください。
- ③【警察署への通報・相談】：万一、同様の電話や不審な接触があった場合は、直ちに管轄警察署および松山市医師会事務局（TEL:915-7700）へご連絡ください。

切り取り線 -

松山市医師会 事務局 行 (FAX : 915-7710)

※過去 1 ～ 2 か月間に類似の事案やお心当たりがある場合のみご返信ください
(該当なしは返信不要)

医療機関名：

ご担当者名：

ご連絡先：

・発生時期：令和8年 月 日頃

・相手業者名／名乗り等：_____

・具体的な状況（※該当する項目にレ点を付け、詳細をご記入ください）

[] 工事業者や不動産業者からの確認電話
(リフォーム、薬剤・資材の問い合わせ等)

「 〃 院長・副院長の在籍確認や不審な無言電話

[] その他